

夢 (ゆめ)

文責 校長 池田 新

- 自立の精神に満ちた豊かな人間力の育成 -

1 5月26日(日)に第52回川登中学校体育大会を開催しました

多くの来賓の方々、保護者や地域の皆様に参観していただき心から感謝しております。

川中生 93 名全員が、約2週間の練習と準備の成果を活かして一生懸命に演技をしたりゴールまで全力で走り抜けたりする姿に、思い出に残る素晴らしい体育大会を築き上げていたと感じました。生徒数が昨年度よりも2割少なくなったので一人二役をこなす必要があり、競技をするか待機している、または役員の仕事に取り組んでいる生徒がほとんどでした。休憩する時間がほとんどなく体力や熱中症を心配していましたが参観の方々を含めて救急車を呼ぶことなく進行できたことに安心しました。

伝統芸能の荒踊りは地域の方々の協力を得て披露できたことに感謝いたします。授業ではビデオを見ながらの練習ですので伝承者の方々の指導で最終仕上げを行い披露できました。また当日の唄を録音ではなく生の歌声で披露していただいたことに地域の伝統芸能に対する熱い情熱を感じ、生徒も日頃の練習の成果を発揮できていました。

女子のソーランは、3年生をリーダーとして生徒中心で練習に取り組んだ成果の披露でした。練習では、下級生が意欲を持ち動きを理解して気持ちを込めた演技になる指導や支援を工夫することでリーダー性を身に付けることができたと思います。当日は筋力を使う演技に疲れを見せずに勇ましい姿でした。アンコールにも笑顔で応える余裕もありました。3年生による最後の決めポーズでの満足した



表情が印象的でした。

応援パネルは、今年度から紅白統一して掲げました。美術部が春休みから制作に取り掛かり、紅軍・白軍共に韋駄天のごとく全知全能を出し切って勝利を目指してほしいという想いが込められていました。争うのではなく競い合うことでお互いに切磋琢磨して成長する体育大会にしてほしい、という校長の願いを見事に達成してくれた川中生の基盤となった素晴らしいパネルでした。

思い出に残る感動的な体育大会を築き上げた川中生の素晴らしい力を、今後も、学習や部活動、学校生活全般で発揮してくれるものと期待しています。



2 新学習指導要領の研究指定を受けて、研究に取り組んでいます

令和3年度から新学習指導要領が完全実施になることを踏まえた研究指定を受けて取り組んでいます。研究では、「学ぶことは楽しい。もっと学びたい。学んだことを課題解決に活用することができる。」と考える川中生の育成をめざしています。そのためには、「自ら進んで学んだり、友達と検討し合ったりして、深く学ぶ。」授業を具体的に工夫することが重要だと考えています。研究内容は、佐賀県下に発信することになります。研究発表等を行う際には保護者の方や地域の方に協力をお願いすることもあるかと思しますのでその際はよろしくお願ひします。

3 学校にも「働き方改革」が求められており、川登中も取り組みます

「働き方改革関連法」の施行により、学校にも時間外労働の上限については「月45時間」「年360時間」が定められています。川登中でもタイムレコーダーの活用、定時退勤日の設定と実施の他にも時間外労働の縮減に取り組んでいます。また、先日、HPにも公開した「部活動に係わる活動方針」(県下全中学校が策定し公開)に応じた部活動指導を行っています。

今までの学校現場での実態として「過労死レベルの月100時間を超えている」職員も少なくなかったので、「教育の質を保ちつつ上限時間を厳守する」難しさを感じています。

4 第38回武雄市ソフトテニス協会会長杯争奪中学生大会で入賞しました

【優勝】釘抜晴生、坂本瑞希（3年）

【第3位】富永悠友、一ノ瀬暖大（3年）

※ 学校通信は川登中学校HPにおいてカラーで見ることができます

川登中学校HP・・・<http://cms.saga-ed.jp/hp/kawanobori-j/home/homeMain.do>